

\*県連のスケジュール

●4月		●5月		●6月	
1	金	1	日	1	水
2	土	2	月	2	木
3	日	3	火	3	金
4	月 常任理事会	4	水	4	土 ハイキング実技 確保要員研修
5	火	5	木	5	日 ハイキング実技 確保講習会
6	水	6	金	6	月 常任理事会
7	木	7	土	7	火
8	金	8	日 リーダ校実技	8	水
9	土 リーダー学校説明会	9	月 常任理事会	9	木
10	日 ハイキング実技	10	火 事務局長会議	10	金
11	月	11	水	11	土 リーダ校机上
12	火 事務局長会議	12	木	12	日 リーダ校実技
13	水	13	金	13	月
14	木	14	土	14	火 事務局長会議
15	金	15	日 ハイキング実技	15	水
16	土	16	月 事務局部会	16	木
17	日	17	火	17	金
18	月 事務局部会	18	水	18	土
19	火	19	木 ハイキング机上	19	日
20	水	20	金	20	月 事務局部会
21	木	21	土 リーダ校机上	21	火
22	金	22	日 リーダ校実技	22	水
23	土 リーダ校机上	23	月	23	木 ハイキング机上 教育部会
24	日 リーダ校実技	24	火	24	金
25	月 自然保護委員会	25	水	25	土
26	火	26	木 教育部会	26	日
27	水	27	金	27	月 自然保護委員会
28	木 教育部会	28	土	28	火
29	金	29	日	29	水
30	土	30	月 自然保護委員会	30	木
		31	火 遭対部会		

メモ

2005. 4. 12 (火)発行

連盟ニュース

No. 243

# かながわ

神奈川県勤労者山岳連盟  
〒221-0822  
横浜市神奈川区西神奈川  
1-18-2 永田ビル3階  
TEL/FAX 045-434-2726  
発行責任者 中山 建生  
編集責任者 村松 勝  
<http://www.k-rouzan.net/>

## 4

### 神奈川県勤労者山岳連盟・定期理事会報告

【日程】2005年3月13日(日)13:00~17:00

【場所】川崎市総合自治会館

理事21名及び会代表者3名の総勢24名の参加となりました。

会長あいさつに続き、大日岳訴訟について原告の内藤氏より呼びかけがありました。

次に2004年度の活動報告と2005年度の方針案が提案されました。中山理事長からは、個人情報保護法の施行に伴う注意事項と遭対基金申請時に発生した問題点の指摘などの報告がありました。

組織部からは第1回のハイキング連絡会議の様子が報告されました。また、本年度は各会紹介を県連ホームページに掲載と県連盟紹介のパンフレットの作成に着手することが提案されました。

教育部からは昨年度のリーダー養成学校の報告と反省点、本年度から土日を使用しての机上と実技のセットの導入などが提案されました。また各会への講師派遣の要請がなされました。

自然保護委員会からは昨年度のクリーンハイクの実績と本年度のクリーンハイクの計画が報告されました。

ハイキング委員会からは昨年度のハイキングリーダー学校の実績と反省点が報告されました。

遭対部からは安全登山の推進と救助隊の資質向上対策についての報告がありました。

会計報告に続いて、監査報告があり、遭対部の決算の遅延について指摘がありました。

活動報告に関する質疑応答では遭対基金申請の窓口についての提案と議論がありました。また、各会の個人山行の管理について意見交換がなされました。

活動予定に関する質疑応答では、リーダー養成学校の中級からの参加資格について、自然保護委員会のクリーンハイク以外の活動について、7Aなどの民間保険について、等の質疑応答がなされました。

採決については、遭対部の決算報告が遅れているため、遭対部関係の予算と決算は執行停止として、予算執行については常任理事会預かりとなりました。その他の活動報告と予定、決算と予算については賛成多数で採決されました。

報告 村松 勝

## 個人情報の保護に関する法律の施行にともなって

2005.3.8 中山建生

情報化社会の発展にともない個人情報の利用が拡大されています。これにより情報の悪用がなされる時様々な権利の侵害が生まれます。

山岳会における個人情報とはなんのでしょうか。すぐに思い浮かべるのは会員名簿であり、登山計画書に記載される氏名、生年月日、住所、電話番号です。しかし、この法律の対象となるのは①個人情報を有する②個人情報データベースなどを有する③5000件以上のデータを有するものとあり、地方連盟ではこれに該当する団体はありません。

法律の趣旨は個人の権利保護にあるとすれば、山岳会もこれに準じて適切な保護をなさいという趣旨であると理解します。

では会員名簿についてはどのような扱いが望ましいのでしょうか。

山岳会が活動を行うに当り、会員間の連絡のために配布されるもの、また登山計画書作成の際、間違いのないことを確認するために使われます。

会員には名簿の使用目的を伝えなくてはなりません。たとえば悪用とはどんなことでしょうか。名簿を利用して社会的な常識を越えて物品の購入を勧める、しつこく付きまとうなど本人が望まないことを強いられるような事態でしょう。どこまでが侵害なのかは名簿の使用目的は、許される範囲はどこなのか基準とされるでしょう。しかし、日常的な活動や社会生活を営む上で必要な行為はその時代によって変わり一律ともいえません。

各自が名簿の管理に気をつける。不必要にコピーを取らない。例えば、会員外に配布するなどは個人情報の悪用と受け取られかねません。名簿管理者(会の役員)には一層の注意が要求されます。情報管理が適正に行われるというのは、正確で最新のものが作られる必要があります。会員の要求があるときは開示、訂正、利用の停止などが問題となります。さて具体的には登山計画書に記載される内容ですが、提出先は各山域を管轄する警察(地域課)に提出します。これは事故発生の際に速やかな対応をする上で必要な情報であり、また山行管理者が登山の安全実施と事前の点検に必要な内容であることから、これを削除することは出来ません。さらに個人情報と考えられるのは登山経験、体力、知識、技術などは山行管理者を含む会の役員が知っておかなくてはならないものです。これらは教育活動や指導にもつながり、会員間の相互信頼を築く上でもお互い知り得る情報となります。山岳会に入会する人の中に、はじめからスーカー行為をしようとする人もないとは思いますが過去には女性会員が退会するというケースもありました。男女の問題は、第三者が軽々しく首をいれるものではありませんが、度を越えた嫌がらせがある場合には会員資格を失う、会則を明記して予めペナルティを受けることを通告しておかなくてはなりません。逆に個人の権利を主張するあまり会の組織活動を害するような要求がある時には、制度の趣旨や山岳会活動のありかたを説明をして毅然とした態度で臨まなくてはなりません。個人の権利保護に関しては適切な対応が取られるよう求めます。



池の平から望む浅間山

藤沢山の会 報告 清水 守 計95名 (男38:女57) 平均59歳	3月 5~6日 入笠山(7)、8日 袖平山(4)、13日 幕山・新人歓迎山行(37)、 19日 屏風岩山(9)、19~20日 天狗岳(4)、18~20日 八丈島(5)、 19~21 会津駒(7)、29日 行者岳、他13件 4月 3日 シダゴ山、8日 甲州高尾山、9日 大久保山、24日 定期総会 5月 21~22日 ビバーク山行、29~30 県クリーンハイク・水質検査
アルパインクラブ横浜 報告:小野郁生 計42名 (男23:女19) 平均37.4歳	2月 9、22日例会 26日城ヶ崎(3)、26日矢倉岳(2)、26~27日草津白根山 (2)、26~27日阿弥陀岳南稜(2)、26~27日谷川岳リーダ-学校(1)、26~27 日谷川岳(2) 3月 9、22日例会 1日湯河原幕岩(2)、5日塔ノ岳~鍋割山(2)、5~6日八ヶ岳川 俣尾根(3)、6日西表島縦断道(1他1)、6日塔ノ岳(3)、6日広沢寺清掃集会 (2)、10日城山(1)、12~13日権現岳東稜(2)、13日湯河原幕岩(2)、14~17 日尾瀬(1)、19日丹沢(1)、19日丹沢(1)、19~20日五竜岳GO稜(3)、 19~21日火打山(6)、21日丹沢(1) 4月 13、26日例会、6日ホームページ部会、20日運営委員会
川崎柴笛クラブ 報告:山村美知 計20名 (男13:女7) 平均46.8歳	3月2日 常任委員会 16日 集会 27日 柴笛総会 13日 茅ヶ岳(1+1) 19~ 20日 ジョウゴ沢アイスクライミング (3) 19~21日 雲取山縦走(1+1) 20~ 21日 女峰山(4) 26~27日 甲子山(1+2) 4月6日 常任委員会 20日 集会 9~10日 茂倉岳(4) 17日 教育山行・鷹取山 27日 机上講習会 5月GW山行計画 鹿島槍東尾根 白馬岳主稜 巻機山~至仏山縦走
横浜山楽会 報告 菅野 藤雄 計:24名 (男:13名 女:11名) 平均:61歳	3月9日 例会 11名 3月12日~13日 レスキュー講習会 大倉 12名 3月19日 ~20日 安達太良山 5名 3月27日 岩トレ&ハイキング 鷹取山 5名 4月3日 定期総会 県民サポートセンター 28名 4月10日 東京散策“樋口一葉 ゆかりの地” 9名 4月24日 岩トレ 鷹取山
奥相模山岳会 報告 杉本清文 計16名 (男5:女11) 平均60歳	3月 27日 南高尾山稜 4月 9日総会 16日 生藤山 5月 未定 毛無山
ハイキングクラブ春らん 報告 古屋 計3名 (男1:女2) 平均63歳	2月 13日 逗子桜山周辺(5) 19日~21日 伊豆下田松崎周辺(6) 3月 19日~21日 八丈島(4) 4月 2日~5日 琵琶湖~六甲(3)
こまくさハイキングクラブ 報告 山田日出子 計18名 (男4 女14) 平均61歳	2月 13日 東逗子から田浦梅林 2月 27日 真鶴半島 3月 13日 三浦海岸~三崎口

## 事務局長会議報告 3月8日

出席会 川崎労山、川崎HC、川崎柴笛、AC横浜、横浜HC、横浜わらび、藤沢山の会、相模労山、  
みずなら、カモの会、やま++ 以上11会

県連からの報告: 理事会開催について。全国評議会の報告。ハイキング懇談会の報告  
活動報告、意見交換: 共同装備の管理、所属について(会で管理、個人で管理)

横浜わらび山の会 報告:野尻邦夫 計16名	2/1 高尾山(1) 2/6 仏果山(6) 2/11~16 鹿島槍高原(1) 2/13 シーサイドハイイク観音崎(20) 2/20~21 戸隠高原・飯縄山(6) 2/26 藤沢宿ハイイク(10) 2/26 定例会 3/6 九鬼山(8) 3/12~13 ハケ岳 3/13 二子山 3/26 定例会 3/27 権現山 3/30 小倉山 4/3 御殿山 4/10 桜山 4/14 坪山 4/17 大塚山 4/23 定例会
川崎ハイキングクラブ 報告 樋渡輝彦 計 104名 (男54名、女54名) 平均56歳	2月19日~20日 高見石~白駒池4,2月20日 高畑山~倉岳山5, 2月20日 浅間尾根4,2月22日 浅間尾根7, 2月23日 例会40,2月27日 生藤山6, 3月9日 運営委員会,3月13日 高取山 7,3月13日 鳥ノ胸山12、20日 大山西尾根,23日 例会,27日 三方山オリエンテーリング,27日 大和周辺ウォーキング,27日 臼杵山~市道山,23日 例会,30日 大霧山 4月 3日 枳形山 例会山行, 9日~10日 谷川岳西黒尾根 雪トレ, 9日~10日 丹沢札掛 森林ボランティア,10日 景信山~堂所山,10日 日向山,13日 運営委員会,17日 武川岳,21日 大岳山,24日 黒岳,27日 例会,
横浜こぶしの会 報告 源馬顕 計28名 (男19:女9) 平均47歳	3月 4日~6日 山スキー@八甲田(5+会員外1)、10日 総会、13日 南房総・富山(8+会員外1)、18日~21日 山スキー@会津駒(3+会員外1)、22日 総会、26日~27日 山スキー@巻機山・柄沢岳(4+会員外4)、27日 会低山@本仁田山 4月 1日~3日 山スキー@猫岳・十石山(2)、10日 雪トレ@マチガ沢、14日 例会、26日 例会、28日~5月1日 山スキー@鹿島槍冷池ベース 5月 12日 例会、24日 例会、29日 クリーンハイイク
相模勤労者山岳会 報告 藤田耕市 計 43名 (男 27:女 16) 平均 50歳	2月1日、袖平山(1) 5日、山スキー御嶽山(1) 4日、日光・松木沢(3) 6日、鍋割・塔の岳(1) 9日、第1例会 10日、蛭ヶ岳(1) 11日、茶臼滝(2) 10-12日、西伊豆縦走(4) 11-13日、日白山・平標山・神楽峰(8) 12-13日、雲取山(3) 11-13日、鳳凰三山(1) 11-13日、丹沢主脈・鍋割山(1) 19-20日、ラッセルトレ(11) 20日、蛭ヶ岳(2) 23日、第2例会 26-27日、富士山・山スキー(8) 27日、蛭ヶ岳(1) 25-27日、阿弥陀岳・赤岳(1) 27日、丹沢大山(2) 3月6日、広沢寺清掃集会 5-6日、御坂山・黒岳・節刀ヶ岳(2) 9日、袖平山(2) 9日、第1例会 12日、高松山・ジダント山(4) 15日広沢寺(3) 20日、三国山(2) 18-21日、日光、奥白根山(4) 19-21日、戸隠山・山スキー(10) 18-21日、六甲須磨アルプス(2) 19-22日、(1) 26-27日、八海山(リター-学校) 23日、第2例会 4月2-4日、阿寺山・八海山(3) 13日、第1例会 16日、救急講習会(16) 17日、搬出トレ 27日、第2例会
横浜ハイキングクラブ 報告 木村真由美 計 56名 〔男 17名女 39名〕 平均59才	3月 3日守屋山〔3名〕、高松山〔11名〕、御岳山~大岳山〔10名〕、10日室内例会、19日機関誌・運営委員会、26日 雪柳の花見ウオ~キング 4月 2日ミツバ岳、9日美の山、24日御正体山、29日~5月2日大台ヶ原・大峰山、14日室内例会、16日機関紙・運営委員会 5月 7~8日岩岳、(初旬)大山、22日日帰りハイイク、24日 桧洞丸、29日クリンハイイク、
川崎勤労者山岳会 報告:佐々木利江 計53名 (男:32女:21) 平均40歳	2月山行:25N~27登)深雪・上州武尊(7)県)リター校谷川岳(1) 3月活動:2日運営委員会、9日山行例会、23日登山学校部会、30日例会山行:4N~6山スキー・湯の丸(4)、山)雪トレ・富士山(5)、13ハイク・大山(6)12~13FC・城ヶ崎(3)、山)雪山・ハケ岳、赤岳(7)、19~20南八ヶ岳・編笠・西岳(4)、26 滝子山(3)、25N~27県)リター校ハケ岳・天狗(1+4)、27山スキー・富士山、ニッ塚(4) 4月活動予定:6日運営委員会、13日山行例会、20日ガイダンス、27日例会
やま++ 報告 柴田 勇作 計 8名 (男 7:女 1) 平均 48歳	3月 9日 机上講習(山スキーの危険回避、春山の気象)(8) 13日 山スキー・湯の丸山(5) 19日~20日 奥多摩・雲取山(1) 20~21日 山スキー・裏磐梯(4) 24日 例会・百合丘(8) 27日 山スキー・神楽峰(3) 4月 3日 丹沢 大杉山 9日 高尾山・花観察ハイイク 10日 総会(溝の口・大山街道ふるさと館)

雪山での遭難を想定した救助隊訓練を、悪天の谷川岳でシミュレーション形式で実施しました。以下当日の記録と訓練のポイント・反省点を総括します。

■1. 目的

捜索から救助・搬出までのシミュレーションを一連のながれとして行い、持ち場を決めた役割分担の中で隊全体の動きを訓練・確認しあうこと、問題点を洗い出すこと。

■2. 日時 平成17年1月14日(金)夜~16日(日)

■3. 場所 谷川岳西黒尾根下部

■4. 遭難状況の想定

- ・計画は「土日で西黒尾根~谷川岳~天神尾根下山の計画、単独、無線なし、携帯あり」
- ・西黒尾根で悪天に見舞われた模様、予定日時を過ぎても下山連絡なし。道迷・雪崩/凍傷による行動不能が考えられるが、詳細不明。
- ・土曜から天候は悪条件(積雪等)
- ・目撃情報等なし

■5. 役割分担

- 現地本部:大河内(裏山探検隊)
- 遭難者役および通信中継隊:海輪(川崎柴笛)、鳥越(小田原ナーゲル)
- 西黒捜索隊:熊谷(アルパインクラブ横浜)、河合(カモの会)、門脇(川崎労山)
- 天神捜索隊:椎谷(相模労山)、佐野(アルパインクラブ横浜)

■6. 記録

<1月14日(金)>

- 21:30 県連事務所集合。持ち出し装備の準備。
- 23:00 出発

<1月15日(土)>

- 2:30 湯檜曾駅着。仮眠
- 8:15 湯檜曾駅にて訓練予定、役割分担の打ち合わせ
- 8:50 湯檜曾駅にてシート搬送による梱包練習。遭難者役出発。
- 10:00 現地本部隊、捜索隊出発
- 現地本部は車中および土合山の家を設置。西黒捜索隊、天神捜索隊とも訓練上、西黒尾根を間隔を空けて行動。遭難者役は西黒尾根鉄塔上部へ先行して待機しながら訓練上通信中継隊を兼ねる。(毎30分毎に現地本部と西黒隊および現地本部と天神隊が中継をはさんで通信する。)
- 13:45 西黒隊遭難者役発見。その後通信により天神隊が合流。応急処置、シェルター(今回はエスパースジャンボ)準備、簡易搬送・収容(訓練上、即日の搬送・下山は無理、遭難者の命には別状なく危急を要しないという想定)。
- 16:00 訓練終了。以後食事しながら反省会

<1月16日(日)>

- 8:00 エスパースジャンボ内で遭難者役梱包
- 9:00頃~ 搬送(登山道ラインまで斜上1P、トラバース1P、引き下ろし5P)
- 12:30 搬送訓練終了
- 14:10~ 土合山の家玄関にて反省会



~ 遭難者のシート梱包訓練 ~



~ 雪上でのシート梱包訓練 ~

## ■7. 訓練のポイント(反省点)

<1月15日の捜索(通信)訓練について>

- ・中継をはさんだとき、現地本部からの返信が捜索隊に届かないことがあった。
- ・捜索隊の側としては交信の閉め時が計りにくかった。基本的に現地本部から「これで交信を終わります」の合図があるまではオープンにしておく等のルール確認を事前しておくこと
- ・多人数になるとコールサインが混乱してしまう。一覧表はやはり必要。
- ・重要事項を受信した後に返信するときは、内容を反復して「・・・ですね、了解」とすると、傍受者なども内容を確認しやすく、聞き逃し等のトラブルも減るのではないかな。
- ・2隊合流後、現地本部への状況説明があやふやになってしまった。どちらかの隊が代表して、中継隊にきちんと状況を伝えること。

<1月16日の梱包・搬送訓練について>

※装備について

- ・スリング・カラビナ類はある程度必要量を想定して持ち出す必要があるが、あまりちょうどすぎると支点やその他地形の条件などで急遽余分が必要になったとき個人装備を持ち出すことになり混乱を招きやすい。少し余分を見越しておくべき。

※梱包について

- ・膝部分のこぶは膝よりやや下側のほうがよい。ちょうど膝の位置にあると、足から流動分散をとるとき膝に引っかかってしまう

- ・保温は体の真下だけでなく、側部も十分に包むように保温材を巻き込んだほうがよい。搬送中に体が反転しかかる時もあるため。
- ・胸から巻き上げてくるシートベントはやや長め・緩めにして、腰からの縦方向で結び上げて首元がYの字になるようにする(首元が絞まらないように)。またヘルメットのあご紐は結ばないように。
- ・降雪時は顔の上の雪よけが大変有効だった。
- ・手が全く動かないというのはものすごく不安感・不快感が大きい。少しだらんとできる程度に梱包しておいたほうがベター。

※支点やロープワークについて

- ・各ピッチ間隔がやや長すぎたので、ピッチごとの移し替えがぎりぎり作業がやりづらいピッチがあった。少し余裕をもってピッチをきったほうがよい。
- ・今回流動分散をメインの末端でやったが、ピッチの切れ目での作業を考えると、やはり別ロープで流動分散を作ったほうが楽だと思われる。

※指揮・意思疎通等

- ・今回各役割分担は事前ミーティングで決めておいたが、各役割のチーフがあいまいだった。チーフを明確にすることで、もっと指示系統が明確になったのではないかな。
- ・引き下ろしでは、確保している側としては、ロープの出し方を無線できめ細かく指示してもらった方がやりやすい。介添え者かもしくは指示専門の人間を配置して逐一意思伝達するべきである。

■全体を通して

- ・最近では初めて救助隊訓練で雪中幕営を含む訓練を実施した。技術訓練だけでは分かり得ない様々な新しい発見があった。
- ・隊員同士の親睦を深められた。
- ・搬送は人数が少なく、人的配置の点でも体力的な点でも厳しい訓練となった。救助隊メンバーのより多くの参加を促して、県連中に枠を広げて訓練していきたい。



～ 雪斜面での引き下ろし訓練 ～

## 八丈小島報告

神奈川県勤労者山岳連盟 ハイキングリーダー学校主催

気を付けて行って来てくれ、総リーダー増田氏の言葉を受け、港に向かう。やがて予約していた船「岩丸」が着く。船長宮崎岩一さんの走行時の注意、島に上陸するときの注意を受け出航。魚市場？では昨夜の成果、トビ魚刺し網が小山となり、漁師が忙しく働いている。私たちの乗っている船を見て、作業の手が止まりギョッとしていたが、皆が手を振ると、笑顔になって手を振り返っていた。女17人色とりどりの服だ、そりゃ驚くだろう、まさかの顔だ。外海に出て、快くもまれること40分、目指す小島に着き、船長の合図で揺れる舳先から勇躍、岩上に飛び移る。ほとんどの人が島渡しなどしたことがないだろう。興奮している。やがて船は岩から離れた。昔の船上げ場の跡などが、一抹の寂しさを表している。遅い朝食の後出発、「きれい、素敵なところね」皆のボルテージは上がるばかり。来てよかった・・・。

捨てられた段々畑、崩れ落ちた文教場、残された校門に一抹の寂しさを感じる。だが足元にはかつての道跡に、スマイル、テンナンショウ、その他の草花等を踏みつけなければ歩けないような場所である。登るにつれ、段々畑の丘から望む大海原に、皆の喜ぶ顔が新鮮に映る。「また、あそこまで登るの高いな～」の声が上がる。船長の話で、山羊おろしにつかう道が八合目ぐらい迄あると聞いていた。途中、山羊捕獲用のネットをくぐり、椿の花を見ながら、急な踏み跡をたどる。風で倒れたのか三メートル位の竹が道に散乱しているのを気をつけ、又、滑り落ちたら海まで一直線かなという所は、帰りに細引きを張ろうと考えて歩いていたら、「頂上だ！」という黄色い声じゃなく、茶色い声上がる。皆「嬉しい、嬉しい」と感激している。

今朝登った来た八丈富士を、昼過ぎに、八丈小島の頂上から見られるとは、又、昨日登った三原山も見えている。頂上三角点の回りは、石で囲ってあった。以前、途中迄登ったコースも眼下に見える。帰路も同じ道を気をつけ、途中、二回安全のため細引きを使った。今朝、上陸した地点で、こまきHCの欠塚さんより、念入りにストレッチを教わり、身体をほぐす。そうこうしていると迎える船が来て、一同気を付けて乗船。「こんな凄い所、もう二度と来れないわ」の声。船が走り、舳先の方から歓声か悲鳴、波を頭からかぶっても、それがまた楽しいとか。「ジェットコースターに乗っているみたい」、船長をあおって、揺らしてもっと波の高い方へつつこめと合図して、またまた茶色い悲鳴を上げている。海ではトビ魚が歓迎してくれたのか、綺麗な羽をひろげて見せてくれた。港へ戻っても興奮さめやらずで、バスで宿に帰ったが、船長がいつまでも手を振って見送ってくれていた。

コースタイム

八重根港発9:10～島打渡船場9:50 朝食後出発10:15～頂上12:15

下山13:00～島打渡船場着15:00～迎える船16:00着～八重根港着16:50

